

(1) 先進地視察の報告について

1. 視察日程 令和5年10月18日(水)～10月19日(木)
2. 視察地
 - ①東京都八王子市(東京都八王子市元本郷町三丁目24番1号)
 - ②神奈川県座間市(神奈川県座間市入谷西二丁目52番1号)
 - ③東京都町田市(東京都町田市森野2-2-22)
3. 派遣職員 ごみ減量推進課職員2名
4. 視察内容
 - ◆1日目(10月18日)
 - ①【八王子市】ごみの減量・資源化の取り組み
 - ◆2日目(10月19日)
 - ②【座間市】サーキュラー・エコノミー推進に向けた取り組み
 - ③【町田市】ごみの減量・資源化の取り組み

剪定枝資源化センター見学

(1) 先進地視察の報告について

※人口10万人以上の都市（259都市中）で表記

福島市と視察市との比較		福島市	八王子市	座間市	町田市	
1	人口	273,904人	562,326人	131,703人	430,607人	
2	(1) 家庭系	① 可燃ごみ	60,679t	84,641t	19,378t	64,674t
		② 不燃ごみ	6,131t	5,135t	365t	7,457t
		③ 粗大ごみ	1,227t	2,664t	427t	3,498t
		④ 資源物	10,888t	38,288t	8,676t	25,887t
		⑤ その他	-	357t	-	143t
	小計		78,925t	131,085t	28,846t	101,659t
	(2) 事業系	30,107t	22,485t	4,654t	17,329t	
	(3) 1人1日あたり (259都市中順位)	1,091g (順位246位)	748g (順位22位)	697g (順位11位)	757g (順位28位)	
3	有料化の有無	無	有	無	有	

※出典：令和3年度環境省一般廃棄物処理実態調査より (https://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/r3/index.html)

(1) 先進地視察の報告について

【八王子市】

～人口50万人以上の市で1人1日当たりのごみ排出量が少ない市ベスト1位～

<概要>

※人口10万人以上の都市（259都市中）で表記

項目	福島市	八王子市
1 人口	273,904人	562,326人
2-(1)+(2) ごみ排出量	109,032t	153,570t
2-(3) 1人1日当たり (259都市中順位)	1,091g (順位246位)	748g (順位22位)
3 有料化の有無	無	有

※2ページの表より抜粋

「ごみの戸別収集」で減量に成功

「ごみの戸別収集」

排出者責任を明確化し、**分別意識を向上**

(1) 先進地視察の報告について

【八王子市】

～人口50万人以上の市で1人1日当たりのごみ排出量が少ない市ベスト1位～

<内容>

「ごみの戸別収集」

- 平成16年10月から「戸別収集」を実施。
- 従前の集積所収集と比べ、排出者が明確になり、市民の分別が向上した。

	効果	課題
集積所収集	<ul style="list-style-type: none">・ ごみ収集の効率が高い	<ul style="list-style-type: none">・ 誰が出したごみかわからない・ 分別が守られない
戸別収集	<ul style="list-style-type: none">・ 誰が出したごみかわかる・ まわりの目が気になり分別の意識がはたらく	<ul style="list-style-type: none">・ ごみ収集の効率が悪くコストや人員を要する・ 業務確立までに時間を要する

「ごみの戸別収集」は、市民の利便性、分別意識の向上など減量につながる効果が大きく期待できる。一方で、一時的な収集効率の悪化やコスト増大など、内包される課題が大きい事業ともいえる。

その他特徴的な事業

- 「たい肥の引き取り事業」
…ダンボールコンポストでできたたい肥を無料で引き取り、希望者には新しい基材を無料で渡している。
駅周辺などの花壇に使用。
- 「リユース事業」
…(株)ジモティーと連携し、スポット回収を実施。市民から受け取った不要品を必要とされる方へ販売。
- 「集合住宅ごみ等優良排出管理認定制度」
…ごみ減量意識、集積所管理状態などを映し出すものとして集合住宅の集積所を優良集積所として認定。



※出典：<上記画像>八王子市ホームページより (<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/gomi/001/torikumi/>)

(1) 先進地視察の報告について

【座間市】

～デジタル技術を活用しごみ収集を効率化～

<概要>

※人口10万人以上の都市（259都市中）で表記

項目	福島市	座間市
1 人口	273,904人	131,703人
2-(1)+(2) ごみ排出量	109,032t	33,500t
2-(3) 1人1日当たり (259都市中順位)	1,091g (順位246位)	697g (順位11位)
3 有料化の有無	無	無

※2ページの表より抜粋

ごみ収集の「見える化」を実現し、ヒト・モノの余力を生み出した

「資源物収集の効率化」

剪定枝の収集方法を変更し、**収集の付加価値と市民サービスを向上**

「普及啓発活動の拡充」

職員自らイベントや学校に赴き、**環境教育を推進**

(1) 先進地視察の報告について

【座間市】

～デジタル技術を活用しごみ収集を効率化～

<内容>

「WOOMS」の概要

- 令和2年8月、WOOMSを活用した実証実験を実施。運搬回数の減や剪定枝回収の増など効率的な収集を実現。
- パッカー車にタブレットを搭載。収集車の位置情報共有、ごみ収集の取り忘れ防止、データ集計、各車両の収集支援など、リアルタイムで把握できる。



※出典：「WOOMS」ホームページより (<https://www.wooms.jp/>)

座間市は、「WOOMS」活用による収集効率化により、マンパワー・コストの余力を創出。ごみ減量施策、市民啓発活動、市民サービス向上に活かしている。市内のリサイクラーの存在、直営収集など、システムと上手くかみ合う要件が整っている。

地域性の違いもある中で、本市での活用をどのようにしていくか課題を整理する必要があるが、財政が縮小し、労働人口が減少する中で、どのように収集体制を維持していくかを考えた際にデジタル化は解決策の一助になると考える。



(1) 先進地視察の報告について

【町田市】

～剪定枝をたい肥として有効利用～

<概要>

※人口10万人以上の都市（259都市中）で表記

項目	福島市	町田市
1 人口	273,904人	430,607人
2-(1)+(2) ごみ排出量	109,032t	118,988t
2-(3) 1人1日当たり (259都市中順位)	1,091g (順位246位)	757g (順位28位)
3 有料化の有無	無	有

※2ページの表より抜粋

市内の剪定枝をたい肥化し「ごみの減量」と「循環サイクルを構築」

「ごみ減量と処分場延命」

剪定枝から土壌改良剤を生み出し、**さらなる資源化を推進**

「たい肥作りの軽減化」

破碎、発酵、醸成を一括で行い、**品質の安定した土壌改良剤を生成**

(1) 先進地視察の報告について

【町田市】

～剪定枝をたい肥として有効利用～

<内容>

「剪定枝資源化センター」の概要

- 平成10年からモデル事業として開始。平成20年には処理能力を拡大するため新規施設を建設。
- 直営にて収集、業務委託にて運営。

□ 実績：

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
収集量	1,404t	1,628t	1,613t
資源化量	1,403t	1,812t	1,815t
販売量	906t	1,023t	1,121t

※収集量<資源化量となるのは資源化処理の年度間繰越によるもの
※資源化量と販売量の差は施設運営受託者で買い取り

□ 経費：

令和4年度					
収入	売払い収入	量売・袋売による	費用	収集運搬費	10,380円/t
	処理手数料	150円/10kg		施設運営費	561,000円/日
年度計 (千円表記)		10,164千円	年度計 (千円表記)		157,091千円

※出典：町田市ホームページ「令和4年度（2022年度）課別・事業別行政評価シート後半」より
(https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/gyouzaisei/shin_ko-kaikei/kessan/2022_gyouseihyouka_kouhan.html)

焼却処分するしかなかった剪定枝を資源化し、**ごみの減量に貢献**。

本市で同等の施設を運営していくと考えた場合、**土壌改良剤の活用先、運営経費**など、課題が多い。ただし、本市の生活系可燃ごみの中で大きな割合を占める草枝類の減量化は喫緊の課題であり、剪定枝の再利用・活用方法について検討していく必要がある。

